

関西フォーラム

# 「慰安婦」決議に応え 今こそ真の解決を!

～被害者に名誉と尊厳を一戦時性暴力の根絶のために～



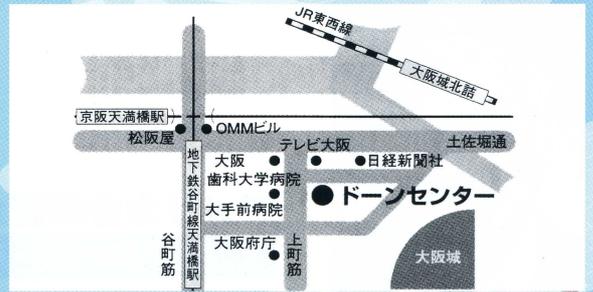
2007年11月23日、大阪府立女性総合センターで「慰安婦」決議案が通過する直前、トヨタホールで開催された被害者による講演集会

昨年7月、「慰安婦」問題について米下院議会で、「日本政府は、明瞭かつあいまいさを留めない形で公的に認め、謝罪を行い、歴史的責任を受け入れるべきである」という決議が採択され、つづいてオランダとカナダ、欧州議会で同様の決議が採択されました。私たちは、なんとしてもこうした世界各国の呼びかけに応えねばならないとの思いを強くし、このフォーラムを企画しました。

各国議会決議に尽力された方々をお招きし、世論を喚起し、国内外の総力をあけて、日本政府や国会を動かすための取り組みをしたいと考えています。今こそ行動しましょう。あなたがフォーラムに足を運んでくださることがその第一歩になります。ご参加を心よりお待ちしております。

**2008年 8月10日(日)** 第1部 AM10:00 ~ 12:00  
第2部 PM 1:00 ~ 4:00

**ドーンセンター 7階大ホール**  
(大阪府立女性総合センター)



大阪市中央区大手前1丁目3番49号 TEL06-6910-8500

アクセス

- ・京阪「天満橋」駅下車。東口方面の改札から地下通路を通過して1番出口より東へ350m
- ・地下鉄谷町線「天満橋」駅下車。1番出口より東へ350m
- ・JR東西線「大阪城北詰」駅下車。2番出口より土佐堀通り沿いに西へ550m

**入場料** : 一般 1,300円  
(前売り1,000円)  
: 中高生 500円

**主催: 「慰安婦」決議の呼びかけに応える関西フォーラム実行委員会**

〒540-0038 大阪市中央区淡路町1丁目 3-11 シティコープ上町 402 (SORA 内)  
郵便口座振替口座 00960-9-320590 「慰安婦」決議関西フォーラム

TEL: 06-7777-4935  
FAX: 06-7777-4925  
携帯: 080-6911-5776

**協力: 「アジア・太平洋地域の戦争犠牲者に思いを馳せ、心に刻む集会」実行委員会**



## アメリカ合衆国から

アナベル・パクさん

アメリカ下院の「慰安婦」決議(H.RES.121)を推進するため、200以上の市民団体からなる「121連合」を結成、全米コーディネーターに。その傘下に、在米韓国・フィリピン系の市民団体、学生組織、教会などが加わり、全米に張り巡らされたネットワークを通して、各下院議員の地元選挙区を歩いて説得活動を繰り返した。その結果、本会議での採択前に、決議案への共同提案者は下院議員167人(全体435人)に達した。ドキュメンタリー番組の映画制作者として、動画サイトなどの新しいメディアを草の根市民運動に活用する草分けとなった活動家でもある。



## ヨーロッパから

キャサリン・バラクロウさん

アムネスティ・インターナショナル国際事務局の東アジア担当。担当地域は韓国、北朝鮮、モンゴルおよび日本。欧州(EU)議会による「慰安婦」決議の背景となった「日本軍性奴隷制による生存者の正義を実現するキャンペーン」の責任者。アムネスティに入る前は、世界銀行のコンサルタントとして、韓国知識協力プログラムに取り組み、貧困削減と経済開発における財政の役割に関し、情報配布と知識共有を促進。オーストラリアのグリフィス大学卒業。韓国の中央大学で国際関係の修士号、アメリカのスタンフォード大学で東アジア研究の修士号をそれぞれ取得。



## フィリピンから

ピラール・フロレンダ・フリアスさん

1926年、フィリピン・ソン島のアニブ村で生まれた。15人兄弟の長子で長女。1942年、16歳の時に両親が留守の間にやって来た日本兵に顔をナイフで刺された上、強姦された。その後、村人は日本兵に退去を命じられ、一家は1944年までカブサオで暮らす。アニブ村に戻ってから1ヵ月後に他の村の数人の女性と共に日本兵に連行され、2ヶ月間毎晩のように複数の日本兵に強姦される生活を送る。アメリカ兵の侵攻で日本部隊が逃げた後に解放された。1992年、「慰安婦」だったことを告白したロサさんを報道で知り、事実を明らかにしようと決心して名乗り出た。

韓国では、自由に羽ばたきたいという思いから  
蝶が「慰安婦」被害者のシンボルになっています。



## アメリカ合衆国から

エニ・フォレオマバエガさん

交渉中

米下院で「慰安婦」問題の「公聴会」を開き、決議を推進した外交委員会アジア太平洋環境小委員会の委員長。一九八九年からアメリカ領サモア代表として下院議員。

彼はインタビューに答え、「河野談話に敬意を払いますが、これが公式な謝罪とは考えません。国会が決議を上げ、首相がそれを政府の立場として表明する、それが謝罪です。米議会も第二次世界大戦中の日系人の強制収容について、議会の決議を上げ、大統領が署名し、日系人に謝罪しました。公聴会で証言した女性たちは、そうした公式謝罪によって尊厳を取り戻せるのです。それが歴史の責任を日本が受け入れるということです」と発言している。



## ヨーロッパから

ジーン・ランバートさん

交渉中

緑の党所属。欧州議会での慰安婦問題に関する決議採択で、中心となった人物。アムネスティ・インターナショナルがオーガナイズした運動で、元慰安婦たちの話を聞き、それに心を動かされたのがきっかけとも。決議が実現したとき彼女は、「ヨーロッパは、日本が第二次世界大戦における性的な奴隷制度への責任を引き受けるよう呼びかけます。『慰安婦』たちは62年にわたって正義を待ちつづけています。多くが孤立し、恥と極端な貧困、病気によって人生を損なわれつづけています。長い年月を経て正義が実現できれば、現在各地で起こっている紛争時の暴力と性的虐待を解決するものになるでしょう」と表明。